

男女共同参画推進に関する市民意識調査票（案）

I 男女共同参画意識についておたずねします

問1 あなたは次の①～⑧にあげる分野で男女の立場が平等になっていると思いますか。
それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

	男性の方が優遇 されている	どちらかといえば 男性の方が 優遇されている	男女の立場は 平等になっている	どちらかといえば 女性の方が 優遇されている	女性の方が優遇 されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育	1	2	3	4	5	6
④ 地域活動（自治会、PTAなど）	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体	1	2	3	4	5	6

II 家庭生活などについておたずねします

問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1 賛成 | 3 どちらかといえば反対 | 5 わからない |
| 2 どちらかといえば賛成 | 4 反対 | |

問3 あなたのご家庭の家事・育児・介護の役割分担について、（1）理想、（2）現状にあてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	(1)理想 (○は1つ)	(2)現状 (○は1つ)
① 男性が仕事、女性が家事・育児・介護を分担する	1	1
② 女性が仕事、男性が家事・育児・介護を分担する	2	2
③ 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護は主に女性が分担する	3	3
④ 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護も平等に分担する	4	4
⑤ 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護は主に男性が分担する	5	5
⑥ 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はなるべく家事・育児・介護サービスを利用する	6	6
⑦ 上記のどれにもあてはまらない	7	7
⑧ わからない	8	8

問4 あなたが家事・育児・介護に携わる1日あたりの平均的な時間について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は①平日、②休日それぞれ1つ)

	0～15分未満	15～30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～5時間未満	5～7時間未満	7～8時間未満	8時間以上
① 平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
② 休日	1	2	3	4	5	6	9	8	9

Ⅲ 地域活動・防災についておたずねします

問5 あなたは、現在何らかの地域活動に参加していますか。(○は1つ)

※地域活動とは、以下のような地域でのさまざまな活動を指します。

- ・子ども会やPTAなどのこどもに関わる活動
 - ・自治会や商店会、商工会などの活動
 - ・趣味、スポーツ、習い事
 - ・仕事でつちかった知識や経験を活かした活動
 - ・自己啓発のための学習活動
 - ・附属機関やその他委員会などの行政の委員会
 - ・NPO活動、ボランティア活動
 - ・防犯協会活動、自主防災組織など防犯や防災に関する活動
- など、地域でのさまざまな活動を指します。

- 1 積極的に参加している 2 ときどき参加している 3 参加していない

問6 男性も女性も地域活動に参加しやすくするためには、どのような環境や条件が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1 地域活動に参加できる時間のゆとりがある | 6 地域活動に使える場所や施設がある |
| 2 地域活動をする経済的なゆとりがある | 7 地域活動について情報を得ることができる |
| 3 地域活動が仕事や家庭生活と両立できる | 8 地域活動することについて家族など周囲の理解がある |
| 4 一緒に活動できる仲間がいる | 9 その他(具体的に:) |
| 5 地域に興味のある活動団体がある | 10 わからない |

問7 大規模災害による避難所運営時には、平常時からの課題が顕在化し、女性の心身の負担が大きくなりやすいため、防災対策にて男女共同参画の視点を取り入れるべきといわれております。このことについてどのような取組が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 市の防災会議や災害対策本部に女性の委員・職員を増やす |
| 2 性別に偏ることなく、防災活動や訓練、避難所の運営に参画する |
| 3 備蓄品について女性やさまざまな困難をかかえる人の視点を入れる |
| 4 「避難所運営マニュアル」などをつくり、誰もが安全に過ごせるようにする |
| 5 防災や災害現場で活躍する女性のリーダーを育成する |
| 6 日頃からのコミュニケーション、地域でのつながりを大切にする |
| 7 日頃から男女平等、男女共同参画意識を高める |
| 8 その他(具体的に:) |
| 9 わからない |

Ⅳ 仕事についておたずねします

問8 あなたは、この1か月間で収入を得る仕事をしましたか。(○は1つ)
※産休、育休、介護休業中の人は「1 仕事をした」に○をつけてください。

1 仕事をした

2 仕事をしていない ⇒ 【問9にお進みください】

【問8で「1 仕事をした」と答えた方におたずねします】

▶ 問8-1 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、性別によりちがいがあると感じられることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 性別により賃金、昇給や昇進、昇格の評価にちがいがある | 6 男性が育児・介護休業を取得しにくい雰囲気がある |
| 2 性別により配置場所が限られている | 7 性別により長時間労働、サービス残業、休日出勤にちがいがある |
| 3 性別により募集や採用にちがいがある | 8 教育・研修を受ける機会にちがいがある |
| 4 女性は結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある | 9 その他(具体的に:) |
| 5 女性が育児・介護休業を取得しにくい雰囲気がある | 10 性別でちがいがあると感じられることはない |
| | 11 わからない |

Ⅴ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)についておたずねします

問9 あなたの生活の中での、「仕事」「家庭生活」「個人の生活(地域活動、趣味・学習等)」の優先度について(1)あなたの理想に最も近い番号、(2)あなたの現状に最も近い番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	(1)理想 (○は1つ)	(2)現状 (○は1つ)
① 「仕事」を優先	1	1
② 「家庭生活」を優先	2	2
③ 「個人の生活」を優先	3	3
④ 「仕事」と「家庭生活」を優先	4	4
⑤ 「仕事」と「個人の生活」を優先	5	5
⑥ 「家庭生活」と「個人の生活」を優先	6	6
⑦ 「仕事」「家庭生活」「個人の生活」のすべて優先	7	7
⑧ わからない	8	8

問 10 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたが特に必要だと思うことを次の「1」～「15」の中から3つまでお答えください。

「1」～「15」から3つまで選択

--	--	--

- 1 長時間労働を見直すこと
- 2 短時間勤務やテレワークなど、柔軟な働き方を整備すること
- 3 育児・介護休業で不利にならないような法律や制度、経済的補償の充実
- 4 職場や上司の理解・協力
- 5 保育や介護の施設やサービスの充実
- 6 就労・再就職・起業に向けての支援をすること
- 7 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識を改める施策を実施すること
- 8 市民、事業者、社会へ向けて仕事も家庭も大切にするという意識を啓発すること
- 9 こどもの頃から、男女平等意識を教育や生活の中に取り入れること
- 10 家族のコミュニケーションを図ること
- 11 趣味や余暇を活かした活動や個人の能力を地域社会に貢献できるように支援すること
- 12 市民活動をしやすい環境を整えること
- 13 その他（具体的に： _____）
- 14 特にない
- 15 わからない

問 11 育児休業の取得状況についておたずねします。

あなたに同居のお子さんはいらっしゃいますか。（○は1つ）

- 1 いる（末子の年齢： _____ 歳） 2 いない ⇒ 【問 12 にお進みください】

【問 11 で「1 いる」と答えた方におたずねします】

▶ 問 11-1 あなたやあなたの配偶者が一番低年齢のお子さんを出産された時に、あなたは育児休業を取得しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

- 1 取得した（する予定） 2 取得しなかった（しない） ⇒ 【問 11-2 にお進みください】

【問 11-1 で「2 取得しなかった（しない）」と答えた方におたずねします】

問 11-2 あなたが、育児休業を取得しなかった（しない）理由は次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1 職場に迷惑がかかると思うから | 6 出産を機に退職した(する)から |
| 2 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから | 7 収入が減少するから |
| 3 復帰後やっていけるかどうか不安であるため | 8 必要性を感じない |
| 4 元の仕事（職場・ポジション）に復帰できるとは限らないから | 9 その他（具体的に： _____） |
| 5 昇進・昇格に支障が出るから | 10 特に理由はない |

問 12 介護休業の取得状況についておたずねします。

あなたは、これまでどなたかを介護されたことはありますか。(○は1つ)

1 介護したことがある

2 介護したことはない ⇒ 【問 13 にお進みください】

【問 12 で「1 介護したことがある」と答えた方におたずねします】

▶ 問 12-1 あなたが介護されていた方とはどのようなご関係にあたりますか。(○はいくつでも)

1 父母

5 同居かつ扶養している、祖父母

2 配偶者の父母

6 同居かつ扶養している、兄弟姉妹

3 配偶者等（事実婚を含む）

7 同居かつ扶養している、孫

4 子

8 その他(具体的に:)

【問 12-1 で「1」から「7」と答えた方におたずねします】

▶ 問 12-2 あなたは、介護休業を取得したことがありますか。(○は1つ)

1 介護休業を取得したことがある

2 介護休業を取得したことがない

⇒ 【問 12-3 にお進みください】

【問 12-2 で「2 介護休業を取得したことがない」と答えた方におたずねします】

問 12-3 あなたが介護休業を取得しなかった理由は次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 そのような休業の制度がなかったから

2 家庭内に介護をしてくれる人が別にいたから

3 職場に迷惑がかかると思うから

4 職場に介護休業を取りにくい雰囲気があったから

5 元の仕事(職場・ポジション)に復帰できるとは限らないから

6 昇進・昇格に支障が出るから

7 介護・看護を機に退職したから

8 収入が減少するから

9 必要性を感じない

10 休業の制度があることを知らなかったから

11 制度はあったが、就労期間、就労時間が短いなど、介護休業の対象とならなかったから

12 その他(具体的に:)

13 特に理由はない

VI 教育についておたずねします

【すべての方におたずねします】

問 13 学校（義務教育）で男女平等教育を進める上で、あなたが重要だと思うものは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 男女平等の意識を育てる授業を行う
- 2 性別に関わりなく個性を発揮し、能力と適正に合わせた生活指導や進路指導を行う
- 3 登場人物・役割など性別に偏りのない教科書や教材を選択する
- 4 発達段階に応じ、人権尊重の立場に立った性教育を実施する
- 5 教員が男女平等教育を推進するよう授業や取組を実施する
- 6 管理職（校長・副校長）に女性を増やす
- 7 児童・生徒が性暴力やセクシャル・ハラスメントをいつでも相談できる窓口を設置し、皆に周知する
- 8 保護者に対し、男女平等教育の理解と協力を求める
- 9 どの授業も男女平等の視点をもって行う
- 10 その他（具体的に： _____）
- 11 特に取り組む必要はない

VII 人権についておたずねします

問 14 あなたは、次のようなことが配偶者や交際相手など親密な関係の間で行われた場合、それを暴力だと思いませんか。①～⑩のそれぞれについて、あなたの考えに近い番号1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

		暴力にあたる場合でも どんな場合でも 暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、 そうでない場合も あると思う	暴力にあたるとは思わない
身体的暴行	① 平手で打つ	1	2	3
	② なぐるふりをして、おどす	1	2	3
	③ 大声でどなる	1	2	3
心理的攻撃	④ 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3
	⑤ 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3
	⑥ 家族や友人との関わりを持たせない	1	2	3
経済的圧迫	⑦ 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
	⑧ 仕事に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3
性的強要	⑨ いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
	⑩ 避妊に協力しない	1	2	3

問 15 あなたは過去5年間に、配偶者や交際相手など、親密な関係にある者（親密な関係にあった者を含む）から問 14 で挙げられたような行為をされたことがありますか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1 何度もあった | 2 1、2度あった | 3 まったくない |
|----------|-----------|----------|

問 15 で「1 何度もあった」または「2 1、2度あった」と答えた方におたずねします】

→ 問 15-1 あなたはこれまでに、このような行為を受けたことを誰かに打ち明けたり、相談したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 1 相談した | 2 相談しなかった ⇒ 【問 15-2 へお進みください】 |
|--------|-------------------------------|

【問 15-1 で「2 相談しなかった」と答えた方におたずねします】

問 15-2 どこ（誰）にも相談しなかったのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | |
|------------------------------|
| 1 相談する人がいなかったから |
| 2 どこに相談してよいのか分からなかったから |
| 3 相談しても無駄だと思ったから |
| 4 相談したことがわかると、仕返しを受けると思ったから |
| 5 恥ずかしくて誰にも言えなかったから |
| 6 自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから |
| 7 自分にも落ち度があると思ったから |
| 8 他人を巻き込みたくなかったから |
| 9 相談するほどのことではないと思ったから |
| 10 その他（具体的に： _____） |

【すべての方におたずねします】

問 16 配偶者や交際相手など、親密な関係にある者（親密な関係にあった者を含む）から暴力を受けた場合、相談できる機関や施設であなたが知っているものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 警察署（交番） | 6 東京都女性相談支援センター（東京都福祉保健局） |
| 2 小平市の市民無料相談 | 7 東京ウィメンズプラザ（女性用・男性用） |
| 3 小平市女性相談 | 8 その他（具体的に： _____） |
| 4 警視庁総合相談センター | 9 相談できる機関・施設があることを知らなかった |
| 5 配偶者暴力相談支援センター | |

問 17 あなたは、配偶者や交際相手など、親密な関係にある者から暴力を受けた場合やそのことに
関する悩みを相談できる窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1 電話による相談ができる | 7 弁護士など、法的知識のある相談員がいる |
| 2 チャット、SNSなどによる相談ができる | 8 臨床心理士、公認心理師など、心理専門職の相談員がいる |
| 3 メールによる相談ができる | 9 配偶者や交際相手など、親密な関係にある者からの暴力に関する専門の相談員がいる |
| 4 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる | 10 その他 |
| 5 同性の相談員がいる | (具体的に：) |
| 6 匿名で相談ができる | |

問 18 あなたが相談機関を利用する際に、都合の良い曜日や時間についてお答えください。
(○はそれぞれ1つ)

(1) 曜日

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 平日(月～金曜日) | 2 休日(土・日曜日) |
|-------------|-------------|

(2) 時間

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 午前(8～12時) | 3 夕方(16～20時) |
| 2 午後(12～16時) | 4 夜間(20時以降) |

問 19 あなたは、配偶者や交際相手などの暴力の防止や対策のために今後どのような事業が必要だと思いませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 相談先や相談方法を記載したカードを、トイレなど、手にとりやすいところに配架し、気軽に相談できる案内を充実する |
| 2 別居後の住民票や保険のプライバシー確保など被害者の安全を守る施策を充実する |
| 3 被害の実態や被害者の支援策を市民に広く周知する |
| 4 被害者支援に携わる人(警察、医師、相談機関の職員)の意識向上を図る |
| 5 加害者に対する再発防止教育を周知する |
| 6 若い世代に人権や男女平等に関する啓発を実施する |
| 7 親しい間柄であっても暴力は人権侵害であるという意識の啓発をする |
| 8 その他(具体的に：) |
| 9 わからない |

問 20 あなたは、「デートDV」(※)(交際相手からの暴力)について知っていますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1 言葉も、その内容も知っている |
| 2 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない |
| 3 言葉があることを知らなかった |

※ 交際相手からの暴力(デートDV)とは、結婚前の恋人間の暴力のこと

問 21 あなたは、性的マイノリティ（L G B T等）（※）について知っていますか。（○は1つ）

- 1 言葉も、その内容も知っている
- 2 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない
- 3 言葉があることを知らなかった

※ レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなど、性自認(自分が認識している性別)が生まれた時の身体的な性別と異なっていたり、性的指向(好きになる相手)が異性ではないなど性のあり方が少数派の人々のこと

問 22 あなたは、性的マイノリティ(L G B T等)の人権を守るために、どのような対策が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 理解を深めるための教育を学校で行う
- 2 相談・支援体制を充実させる
- 3 性的マイノリティの困難に配慮できるよう人々の意識に定着させる啓発を行政が行う
- 4 法律や制度を整備する
- 5 性的マイノリティ(L G B T等)の人が集まって交流できるコミュニティスペースの確保
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 わからない

VIII 女性活躍推進についておたずねします

問 23 あなたは、政治や企業活動、地域活動など、あらゆる分野において、政策や方針の決定過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 男性優位の組織運営であるから
- 2 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないから
- 3 性別による役割分担や性差別の意識があるから
- 4 女性側の積極性が十分ではないから
- 5 家庭の支援・協力が得られないから
- 6 女性の活動を支援するサポート体制が整っていないから
- 7 女性の能力開発の機会が不十分であるから
- 8 その他（具体的に： _____）
- 9 わからない

IX 小平市の男女共同参画に関する施策についておたずねします

問 24 あなたは、小平市で取り組んでいる下記にあげる男女共同参画施策を知っていますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1 小平市男女共同参画推進条例 | 10 子ども家庭支援センター（※2） |
| 2 小平市男女共同参画推進計画－
小平アクティブプラン 21 | 11 広報誌『ひらく』 |
| 3 男女共同参画宣言都市 こだいら | 12 女（ひと）と男（ひと）のフォーラム |
| 4 男女共同参画センター “ひらく” | 13 男女共同参画推進講座 |
| 5 女性相談 | 14 デート DV 防止啓発出前授業 |
| 6 女性 LINE 相談 | 15 多様な性に関する出前授業 |
| 7 性的マイノリティ等電話相談・交流会 | 16 マザーズハローワーク出張相談 |
| 8 ひとり親相談 | 17 小平市男女共同参画推進審議会 |
| 9 こども家庭センター（※1） | 18 小平市男女共同参画推進実行委員会 |
| | 19 いずれも知らない |

※1（こども家庭センターの説明）

※2（子ども家庭支援センターの説明）

問 25 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、どのような考え方が重要だと思いますか。
あなたが特に重要だと思うことを次の「1」～「18」の中から3つまでお答えください。

「1」～「18」から3つまで選択

- | | |
|---|---|
| 1 人権を尊重すること | |
| 2 平等であること | |
| 3 責任を分かち合うこと | |
| 4 性別により差別的な取扱いを受けないこと | |
| 5 性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮すること | |
| 6 制度または慣行が多様な生き方の選択に影響を及ぼさないよう配慮すること | |
| 7 性別による固定的な役割分担意識を解消すること | |
| 8 自らの意思で、様々な活動に対等な立場で参画すること | |
| 9 性別にかかわらず、政策や方針の立案、決定に共同して参画すること | |
| 10 家庭や地域、学校、職場などあらゆる場で、個性と能力を尊重して学べる機会があること | |
| 11 家庭生活において、家族が互いに協力しあうこと | |
| 12 性別にかかわらず、家庭生活や仕事、地域活動などを行うことができること | |
| 13 相互の性に関する理解を深め、尊重し合うこと | |
| 14 女性の生涯にわたる性やこどもを産むことに関して健康が保持され、
本人の意思が尊重されること | |
| 15 国際社会や国内の様々な取組と協調すること | |
| 16 その他（具体的に： | ） |
| 17 特にない | |
| 18 わからない | |

問 26 あなたは、男女共同参画社会を推進するため、今後、小平市ではどのようなことに力をいれるべきだと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 男女共同参画社会を推進するための講演会・講座の充実 |
| 2 | 男性の家事・育児・介護への参画促進 |
| 3 | 女性のための相談事業の充実 |
| 4 | 男性のための相談事業の充実 |
| 5 | 子育て支援の充実 |
| 6 | 高齢者支援の充実 |
| 7 | 障がい者支援の充実 |
| 8 | リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（※1）の普及 |
| 9 | 性・年代別のニーズに応じた健康支援の充実 |
| 10 | 女性の就労・起業についての支援策 |
| 11 | 男女ともに働く環境の改善、整備 |
| 12 | 男女共同参画センター“ひらく”の充実 |
| 13 | DV（ドメスティック・バイオレンス）など、あらゆる暴力被害者支援の充実 |
| 14 | 地域活動における男女共同参画の促進 |
| 15 | 学校教育での男女平等教育の実施 |
| 16 | 意思決定の場（審議会・委員会）への女性の参画促進 |
| 17 | こどもの虐待防止対策 |
| 18 | 性的マイノリティへの理解促進 |
| 19 | その他（具体的に |
| 20 | 特になし |
| 21 | わからない |

※1 身体的・精神的・社会的な健康を維持し、子どもを産むかどうか、いつ産むか、どれくらいの間隔で産むかなどについて選択し、自ら決定する権利のこと

X 最後に、あなたご自身についておたずねします

※これまでお答えいただいたことを統計的に集計・分析するために用います。
個人を特定した分析は行いませんので、ご安心ください。

F 1 あなたの性別（○は1つ）

（※生まれた時の身体的な性別ではなく、ご自身の認識している性をお答えください）

- | | | | |
|------|------|-------|-----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 | 4 回答したくない |
|------|------|-------|-----------|

F 2 あなたの年齢（○は1つ）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| 1 18～24 歳 | 4 35～39 歳 | 7 50～54 歳 | 10 65～69 歳 |
| 2 25～29 歳 | 5 40～44 歳 | 8 55～59 歳 | 11 70～74 歳 |
| 3 30～34 歳 | 6 45～49 歳 | 9 60～64 歳 | 12 75 歳以上 |

F 3 あなたの職業（○は1つ）

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 1 自営業（家族従業者、自由業含む） | 4 家事専業（主婦・主夫） |
| 2 正規雇用（役員を含む） | 5 学生 |
| 3 非正規雇用（パート、アルバイト、派遣社員、契約社員など） | 6 無職 |
| | 7 その他（ |

【F 3で「1」～「3」と答えた方におたずねします】

F 3－1 あなたの勤務地（○は1つ）

1 小平市内 2 小平市外 3 その他（具体的に： ）

【すべての方におたずねします】

F 4 あなたの結婚の状況（○は1つ）

1 既婚（事実婚を含む） 2 離別 3 死別 4 未婚

【F 4で「1 既婚（事実婚を含む）」「2 離別」「3 死別」と答えた方におたずねします】

▶ F 4－1 あなたは結婚、出産・育児を機会に退職をした経験がありますか。（○は1つ）

1 ある（結婚退職・直近5年以内） 3 ある（出産・育児で退職・直近5年以内） 5 ない
2 ある（結婚退職・5年より以前） 4 ある（出産・育児で退職・5年より以前）

▶ 【F 4－1で「1ある（結婚退職）」または「2ある（出産・育児で退職）」と答えた方におたずねします】

F 4－2 結婚、出産・育児を機会に退職したのは、あなたの希望によってですか。（○は1つ）

1 自分で希望して退職した 3 職場の意向や慣習で退職した
2 家族や親族の希望で退職した

【F 4で「1 既婚（事実婚を含む）」と答えた方におたずねします】

F 4－3 あなたの世帯の働き方は次のうちのどれですか。（○は1つ）

1 夫婦が共に働いている 3 妻だけが働いている
2 夫だけが働いている 4 夫婦共に働いていない

F 5 あなたのお住まいの地域をお答えください。

1 大沼町	7 喜平町	13 たかの台	19 花小金井南町
2 小川町	8 栄町	14 津田町	20 美園町
3 小川西町	9 上水新町	15 天神町	21 御幸町
4 小川東町	10 上水本町	16 仲町	22 回田町
5 学園西町	11 上水南町	17 中島町	
6 学園東町	12 鈴木町	18 花小金井	

★ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかどうか、もう1度ご確認のうえ、
同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手をはらず

●月●日（●） までにポストへ投函してください。